

原料費調整制度に基づく2022年12月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年12月検針分の単位料金を調整した結果、2022年11月検針分と比べ、1^m (45MJ) につき9.63円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年7月～2022年9月の平均原料価格が123,880円/t (2022年12月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を123,880円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に30^mのガスをお使いになる標準家庭で2022年11月検針分と比較して、289円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年12月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)					
	料金表A 0～20 ^m	料金表B 21～80 ^m	料金表C 81～200 ^m	料金表D 201～500 ^m	料金表E 501～800 ^m	料金表F 801 ^m ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/ ^m)	204.65	189.80	187.60	184.30	175.50	167.80
(参考) 11月 調整単位料金	195.02	180.17	177.97	174.67	165.87	158.17

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 30 ^m (45MJ/ ^m)	(消費税込)		
	2022年 11月	2022年 12月	増減
適用料金(円/月)	6,461	6,750	289

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年6月～2022年8月 の平均 (11月検針分)	2022年7月～2022年9月 の平均 (12月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	122,310	140,920	18,610
LNG	123,030	142,800	19,770
LPG	104,190	101,820	▲ 2,370
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	65,000	83,600	18,600

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{142,800} && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{101,820} && \times 0.0546 \end{aligned}$$

140,919.49

↓(10円未満四捨五入)

140,920 円/t (調整上限123,880円/t)

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \boxed{123,880} \text{ 円/t (調整上限)} & - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{66,630} \text{ 円/t} \\ & \downarrow (100円未満切捨て) \\ & \boxed{66,600} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} & = \boxed{66,600} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0891^{*1} \\ & = \boxed{59.34} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2022年 11月	2022年 12月	増減
適用料金(円/月)	6,461	6,750	289

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} & = \text{基本料金(1,056.00円)} \\ & + \text{調整単位料金(130.46円)} + \boxed{59.34} \text{ 円} \times 30\text{m}^3 \\ & \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が123,880円（2022年12月分に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は123,880円としてガス料金の調整を行います。